

# 平塚市沖にヒラメ放流

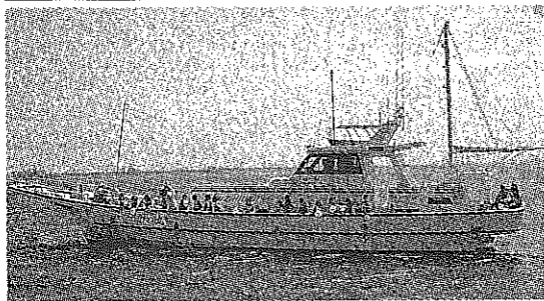
14日皮切りに合計7万尾

神奈川県  
栽培漁業協

## 小学生もお手伝い

【平塚】神奈川県栽培漁業協会(後藤勇理事長)は6月14日、平塚市沖に合計5000尾のヒラメ種苗を放流した(写真)。これを皮切りに、神奈川県下の海に合計7万尾のヒラメ種苗を放流する。同市ではその一部を地元小の小学生が遊漁船に乗り、沖に出て放流した。

同協会が事業主体となり、平成24年度栽培漁業資源増大促進事業で放流しているもので、このほか、同協会の種苗供給事業で相模湾水産振興事業団が3万尾、同県下漁協が購入したヒラメ種苗を合わせ、今年度は合計15万尾の種苗を放流することになる。



平塚市での放流は、同市立港小学校の5年生1

40人が、平塚市漁協の後藤勇組合長から乗船した時の注意点などを聞いたあと、同協会の今井利為専務にヒラメの成長などについて説明を受け、救命胴衣を着けて4隻の遊漁船に分乗。同市沖に出てヒラメ種苗を放流した。

平塚市沖に設置されている海洋観測塔、定置網、茅ヶ崎市沖の烏帽子岩などの見学を行い、帰港した。